

# 陳 情 文 書 表

受 理 番 号	陳 情 第 1 3 2 号												
件 名	地球三大危機、危険な猛暑、核放射能拡散、資源戦争阻止に関する ことについて												
要 旨	<p>私（たち）は11月13日、国内資源肥料フォーラムで出展、説明ができました。20日に新潟県議会へ同様の陳情をしました。</p> <p>来年は今年よりさらに猛烈に暑くなります。なぜか。1992年気候変動条約枠組、採択3年前に、強欲経済の石油メジャー等の世界気候連合（1989年設立）が、世論誘導で化石燃料のCO<sub>2</sub>を原因変節（空の発熱現象省略と化石燃料や森林伐採の規制がない）条約です。</p> <p>気候変動、温室効果ガス削減は、CO<sub>2</sub>濃度低減の思考施策でないから、CO<sub>2</sub>濃度400ppm危険水準超が空の発熱量、気温40度超になっているのです。加えて、国際的な核実験再開宣告並びに国内の原発再開状況に鑑み、本件及び新潟市非核平和都市宣言の趣旨と併せて、懸念事項として新潟市議会をはじめ、多くの市民や団体と共に論議する必要性があると思い、温暖化と気候変動の違いを分かりやすく、温暖化ABC、気候変動ABC比較表を考案、添付して陳情いたします。</p> <table border="1"> <tr> <td></td><td>「温暖化」は現実的に示す</td><td>「気候変動」は自然現象を ゆがめ示す</td></tr> <tr> <td>A</td><td>暖かいのは「空での発熱現象」のおかげです。</td><td>あり得ぬ効果ガス、削減枠組みの架空数値。</td></tr> <tr> <td>B</td><td>バイオ、光合成と緑化の循環型肥料が必要。</td><td>膨大な太陽入射量を空へ逃がす虚実です。</td></tr> <tr> <td>C</td><td>CO<sub>2</sub>吸収の濃度低減が気温低下になる。</td><td>「地球エネルギー収支」説明に虚実がある。</td></tr> </table> <p style="text-align: right;">（次頁につづく）</p>		「温暖化」は現実的に示す	「気候変動」は自然現象を ゆがめ示す	A	暖かいのは「空での発熱現象」のおかげです。	あり得ぬ効果ガス、削減枠組みの架空数値。	B	バイオ、光合成と緑化の循環型肥料が必要。	膨大な太陽入射量を空へ逃がす虚実です。	C	CO <sub>2</sub> 吸収の濃度低減が気温低下になる。	「地球エネルギー収支」説明に虚実がある。
	「温暖化」は現実的に示す	「気候変動」は自然現象を ゆがめ示す											
A	暖かいのは「空での発熱現象」のおかげです。	あり得ぬ効果ガス、削減枠組みの架空数値。											
B	バイオ、光合成と緑化の循環型肥料が必要。	膨大な太陽入射量を空へ逃がす虚実です。											
C	CO <sub>2</sub> 吸収の濃度低減が気温低下になる。	「地球エネルギー収支」説明に虚実がある。											
付 託 年月日 委員会	<div> <div>第 1 項</div> <div>令和 7 年 12 月 16 日</div> <div>第 3 項</div> </div> <div> <div>}</div> <div>環境建設常任委員会</div> </div>												
受 理	令和 7 年 11 月 26 日      第 443 号												

	<p style="text-align: center;">記</p> <p>1 世界の空の発熱現象を知り、正しい温暖化教室を広め、危険な猛暑阻止を日本から発信するように、市民と共に調査研究し、持続可能な方策を見いだすこと。</p> <p>2 平成17年（2005年）の新潟市非核平和都市宣言と併せて、原発や核開発をやめさせていくために、CO<sub>2</sub>石油と発電装置、市民参加の資源エネルギーづくりを各地域（中学校、自治協）に設置し、通常発電供給及び災害時に救援が行えること。</p> <p>3 国の光合成生物の量産、グリーンバイオ戦略（CRDS－FY 2010－XR 21）及び国内資源肥料の利用拡大によって、地球規模の緑化事業にし、CO<sub>2</sub>濃度低減、気温低下の温暖化阻止NHP社会を目指すこと。</p>
--	---